

The World Trauma Congress
WTC2022 東京大会

募金趣意書

会 期：2022年9月7日(水)～9月10日(土)
会 場：新宿 京王プラザホテル
会 長：大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
救急医学領域長 救急災害医学分野 教授
東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター長)

ご挨拶

The 6th World Trauma Congress 2022 (WTC2022) を2022年9月7日(水)から10日(土)までの4日間にわたり、東京で開催させて頂くことになりました。会場は京王プラザホテルです。東京都の中核機能を担う都庁も置かれる中心都市「新宿」で、世界の外傷医療を担う各国の要人達を迎えます。

外傷は45歳以下の若い世代の死因の第1位であり、世界的に問題となっている。毎年約5百万人々が外傷で亡くなっており、その90%は低所得国と中所得国の人々といわれている。外傷死は経済状況とも関連があると言われており、重症外傷においては高所得国の人々と比べ低所得国の人々は約6倍の死亡率があるといわれている。この様な世界の状況において、世界の外傷診療のシステムなど様々な改善は重要であるため、世界各国を代表する外傷の学会組織により外傷診療世界連合 World Coalition for Trauma Care (WCTC) を2012年に結成された。WCTCの目的は1. 外傷診療の重要性の認識を世界に高めること、2. 世界における外傷の教育、3. 外傷診療におけるシステムの発展、4. World trauma congress (WTC) への貢献となっており、その目的を果たすために World Trauma Congress (WTC) が開催され、2012年8月にはブラジルのリオデジャネイロにて第1回の世界外傷学会 (World Trauma Congress; WTC) が開催され世界各国で積極的なディスカッションが行われた。その後は2年に1回 WCTC に参加している国にて WTC が開催されている。

この度の日本開催では、世界の外傷の専門家が一堂に会し、外傷の診療・教育・システム・データの収集/分析・最新の研究に関する討論や研究発表が行われ、外傷診療の普及・標準化・発展とその応用展開を図ることを目的としています。

また、日本 Acute Care Surgery 学会、日本外科学会、日本外傷学会、日本救急医学会、日本骨折治療学会など関係性の高い他の会合との連携開催も予定しており、海外のみならず、日本人の積極的参加にも期待できます。

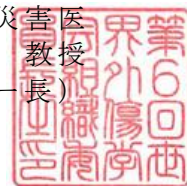
本学術大会には国際的に活躍されている海外、日本の研究者が多く参加します。また未来を担う若い研究者の国際的交流と研鑽の場となるよう多様なワークショップを企画し、多くの演題が発表されます。本学術大会が日本に留まらず世界の外傷医療の向上と未来ある研究者の育成に貢献できるよう尽力して参る所存です。ご協力・ご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

The 6th World Trauma Congress 2022

会長 大友 康裕

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 救急医学領域長 救急災害医学分野 教授

東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター(長)



会議の概要

1. 会議の名称とテーマ

1) 会議の名称

英文：The 6th World Trauma Congress 2022

和文：第6回世界外傷学会

2) 会議のテーマ

英文

「Toward the establishment of sustainable trauma care in the globe」

和文

「持続可能な世界のトラウマケア確立に向けて」

2. 主催・併催機関などの名称

1) 主催

第6回世界外傷学会組織委員会

日本学術会議(共催申請中)

2) 後援団体

日本 Acute Care Surgery 学会(一社)、日本外科学会(一社)、日本救急
医学会(一社)、日本外傷学会(一社)、日本骨折治療学会(一社)、
厚生労働省(予定)、東京都(予定)等

3) 母体団体

外傷治療世界連合

4) 協賛(予定)

アイエヌアイ株式会社、ALCARE 株式会社、旭化成株式会社、伊藤忠商事株式会社
エアーストレッチャー株式会社、大塚製薬株式会社、科研製薬株式会社
株式会社オートワークス、株式会社シゲマツ、株式会社 NTT、株式会社 NTT DATA
株式会社ワコー商事、コニカミノルタ株式会社、センチュリーメディカル株式会社
テルモ株式会社、テレフレックスメディカルジャパン株式会社、
トヨタテクノクラフト株式会社、東レ株式会社、日医工株式会社、
日本光電工業株式会社、日本船舶薬品株式会社、フィリップス
フクダ電子株式会社、富士フィルム株式会社、へるす出版

3. 開催期間

2022年9月7日(水) — 9月10日(土) (本会議4日間)

4. 開催場所
 新宿 京王プラザホテル
 〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2 丁目 2-1
 電話 03-3344-0111
 ファックス 03-3345-8269
5. 主催責任者
 第 6 回世界外傷学会組織委員会
 組織委員長 大友 康裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
 救急医学領域長 救急災害医学分野 教授)
- 組織副委員長 平野 聡(北海道大学大学院医学研究科外科学講座
 消化器外科学分野Ⅱ 教授)
- 実施責任者名 (事務局長)
 森下 幸治 (東京医科歯科大学大学院
 医歯学総合研究科救急災害医学分野 講師)
- 事務局 〒108-0073
 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8F
 電話：03-6369-9995 ファックス：03-3453-1258
 E-mail: wtc2022@issjp.com

6. 日本開催の経緯

2012 年 8 月にブラジルのリオデジャネイロにて第 1 回の世界外傷学会 (World Trauma Congress ; WTC) が開催された。WTC は 2 年に 1 回 WTC に参加している国で開催されており、2018 年にサンディエゴで開催された第 4 回世界外傷学会 (WTC 2018) の開催期間中、9 月 26 日に開かれた理事会において、ビッドペーパーを配布し、誘致プレゼンテーションを行った。その結果、全 18 票中、東京 17 票、深圳 (中国) 1 票となり、2022 年に開催される第 6 回世界外傷学会 (WTC2022) は、東京で開催されることが決定した。東京開催の決定にあたっては、これまでの WTC における日本の積極的な関与、東京への誘致に向けた準備体制、日本の関連学会および韓国、インド、台湾などのアジア近隣諸国との良好な関係性が評価された。

| 開催年 | 開催地 | 参加国数 | 参加者数 | 日本人参加者 |
|----------------|-----------------|------|-------|--------|
| 2012 年 (第 1 回) | リオデジャネイロ (ブラジル) | 10 | 1,500 | |
| 2014 年 (第 2 回) | フランクフルト (ドイツ) | 10 | 2,500 | |
| 2016 年 (第 3 回) | ニューデリー (インド) | 35 | 1,700 | |
| 2018 年 (第 4 回) | サンディエゴ (USA) | 35 | 1,666 | |
| 2020 年 (第 5 回) | ブリスベン (オーストラリア) | 未開催 | 未開催 | |
| 2022 年 (第 6 回) | 東京 (日本) | 15 | 800 | 300 |

7. 日本開催の目的と意義

この度の日本開催では、世界の外傷の専門家が一堂に会し、外傷の診療・教育・システム・データの収集/分析・最新の研究に関する討論や研究発表が行われ、外傷診療の普及・標準化・発展とその応用展開を図ることを目的としている。外傷は、外科、救急科、放射線科、集中治療科、整形外科科、脳神経外科科など横断的な診療領域が関係するため、日本 Acute Care Surgery 学会のみならず、日本外科学会、日本外傷学会、日本救急医学会、日本骨折治療学会など関係性の高い他の学会からも協力を得ており、海外のみならず、日本人の積極的参加も期待できる。また、外傷診療には医師のみならず、看護師、救命士、理学療法士など多職種が係るため、多職種が参加できるようなセッションも検討している。さらに、国内および途上国の若手研究者の育成、研究機会の創出を行うべく、国内の若手優秀者に対する参加補助や多くの途上国の研究者の招聘費補助などを行い、外傷医療分野における次世代の研究者を含め交流を図る機会とする。著名な講演者としては、金メダリストの室伏広治氏や本組織委員会の組織委員である宇宙飛行士の向井千秋氏、また、市民公開講座では元警察庁長官の國松孝次氏も組織委員として講演を予定している。

8. 開催計画の概要

1) 会議日程

| 会議日程 | 午前 | 午後 | 夜 |
|----------|-----------------------------|--------------------------|-------------|
| 9月7日(水) | 設営 役員選挙 | 設営 参加受付 役員選挙 | ウェルカムレセプション |
| 9月8日(木) | シンポジウム/同時セッション ポスター・企業展示 | 特別講演 開会式 ポスター・企業展示 | 会長招宴 |
| 9月9日(金) | シンポジウム/同時セッション | シンポジウム/同時セッション | ガラディナー |
| 9月10日(土) | シンポジウム/同時セッション ポスター・企業展示 | 閉会式 市民公開講座 | |

2) 主要トピックス

セッションテーマ

- ① Breakthrough of trauma care brought by Hybrid ER System / RAPTOR
ハイブリッド 救急室 (ER/RAPTOR) によりもたらされた外傷診療ブレイクスルー
- ② Effectiveness of physician-led prehospital trauma care
医師主導の病院前外傷診療の効果
- ③ How to manage mass casualties in urban settings
都市部での多数傷病者のマネジメント
- ④ Cutting edge approach for severe TBI 重症頭部外傷の最新知見
- ⑤ Damage control orthopedics for mangled extremity
重症四肢外傷の整形外科のダメージコントロール
- ⑥ Impact of SARS-CoV-2 pandemic on trauma care
外傷診療に与えた COVID-19 の影響
- ⑦ Management of geriatric trauma patients; issues facing

- aging societies 高齢者外傷診療；高齢化社会の直面する問題
- ⑧ Recent innovations in trauma care -emerging high-technologies-
外傷診療における最新イノベーション
- ⑨ Simulation training for trauma
外傷診療シュミレーショントレーニングコース
- ⑩ Characteristics of transportation system among each country
各国の搬送システムの特徴
- ⑪ Quality indicator for Trauma Care
外傷診療のクオリティ インディケーター
- ⑫ Big data in trauma 外傷診療におけるビッグデータ
- ⑬ Young Investigator's Award (YIA) Session 若手優秀賞セッション

3) 参加予定者

| | |
|----|------|
| 国内 | 300名 |
| 海外 | 500名 |
| 合計 | 800名 |

4) 参加予定国 15ヶ国・地域

アメリカ、韓国、英国、中国、フランス、イタリア、ブラジル、ドイツ、インド、オーストラリア、イスラエル、オランダ、カナダ、フィンランド、サウスアフリカ

5) 会議使用言語

英語、日本語

9. 寄附金を必要とする理由

第6回世界外傷学会は海外から500名、国内300名、計800名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は140,210,000円が見込まれている。これらの諸経費は、本来参加登録費等でまかなうことが建て前であるが、本会議は、日本と欧米諸国そしてアジア諸国の研究者が一堂に会する重要な国際会議と位置づけられており、多数の参加を促進してシンポジウムを活性化するために、登録料を他の国際研究集会と同等の額にしている。研究集会経費は本来参加登録費等でまかなうべきものであるが、国際会議ということもあり、これらの費用だけで満足な運営を行うことは困難である。総額140,210,000円から、参加費等自己負担額62,970,000円、補助金・助成金等21,000,000円、展示会費44,240,000円を除く不足額、12,000,000円を諸企業及び諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状である。したがって、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄附金にて充当したい。

10. 収支予算(案)

単位：円

| 収支区分 | 金額 |
|------------------|-------------|
| (収入) | |
| 1. 自己負担金(参加登録費等) | 62,970,000 |
| 2. 諸収入等(展示会等) | 44,240,000 |
| 3. 補助金/助成金等 | 21,000,000 |
| 4. 寄附金等 | 12,000,000 |
| 収入合計 | 140,210,000 |
| (支出) | |
| 1. 会議準備費 | 29,100,809 |
| 2. 会議運営費 | 63,721,127 |
| 3. 展示会等 | 30,874,200 |
| 4. 募金経費 | 860,000 |

| | |
|----------|-------------|
| 5. 事後処理費 | 2,907,500 |
| 6. 全体消費税 | 12,746,364 |
| 支出合計 | 140,210,000 |

1.1. 寄附金募集要項

(1) 募金の名称

第6回世界外傷学会寄附金

(2) 募金の目標額

12,000,000円（総額140,210,000円の内）

(3) 募金期間

2020年12月28日～2022年9月6日

（注：会議開催日前の銀行営業日まで）

(4) 寄附金の使途

第6回世界外傷学会の準備並びに運営に関する費用に充当します。

(5) 寄附金申込先

独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部交付金担当

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 10F

電話：03-5369-6015 ファックス：03-3350-3650

email:cvnews@jnto.go.jp

(6) 寄附金振込方法

別紙のフローチャート通りとなります。

別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。

寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。寄附金申込書受理書を受領後、指定口座番号にお振込ください。

(7) 税法上の扱い

この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。